

教育長あいさつ

ひたちなか市の教育は、ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画のもと「第2次ひたちなか市教育の大綱」を掲げ、「子供たちがのびのびと成長し 豊かな人間性が育まれるまちづくり」を基本理念として取り組んでおります。

変化の激しい、そしてかつて経験したことのない社会を、子供たちが生きていくためには、今までにない不確実な世界に対応できるスキルとマインドが必要となってきます。今後は、トライ アンド エラーを繰り返し行動し、創造性を豊かにして、どのような状況下でも、自ら考え、解決に向けて行動できる「未来を切り拓く人材の育成」が求められると考えます。

また、「物事にポジティブに取り組む力」「進んで行動する力」「自分でじっくり考える力」「力を合わせて努力する力」などの社会人として必要な資質能力は、様々な子供たちや教職員、保護者や地域の方から構成される一つの社会である「学校」において、培われるものであると考えます。

開かれた学校の中で、探究的な学習を実践し、さまざまな困難や変化に対して、与えられた環境のみならず、自ら枠を超えて行動を起こし新たな価値を生み出していく精神（アントレプレナーシップ：チャレンジ精神・創造性・探究心等）を身に着け、学校と地域の繋がりにより多様な人と多様な体験を経験すること、そして、高い志や意欲、困難や脅威に対してしなやかに対応するレジリエンス力をもった、これからの時代を生きていくために必要な力の育成が必要であると考えます。そのためにも、「魅力ある学校づくり推進事業」を中心として、子供たちの居場所づくりと絆づくりを目指し、ICTの活用や体験活動を通して、子供たちの活躍する場や自信をつける活動を推進してまいります。

令和5年度は、小学校の民間プールを活用したプール学習において、専門家からの指導を受けられるようにしました。また、社会教育主事を配置し、コミュニティ・スクールや部活動の地域移行など学校と地域の連携をさらに推進し「地域とともにある学校づくり」を目指してまいります。

本市の教育振興のためのスローガン「夢・感動・笑顔がひろがる教育のまち」を目指し、学校・保護者・地域がそれぞれの役割を果たすことを基盤として、子供たちを取り巻く教育環境の一層の充実を図ってまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年9月

ひたちなか市教育委員会教育長 野沢 恵子